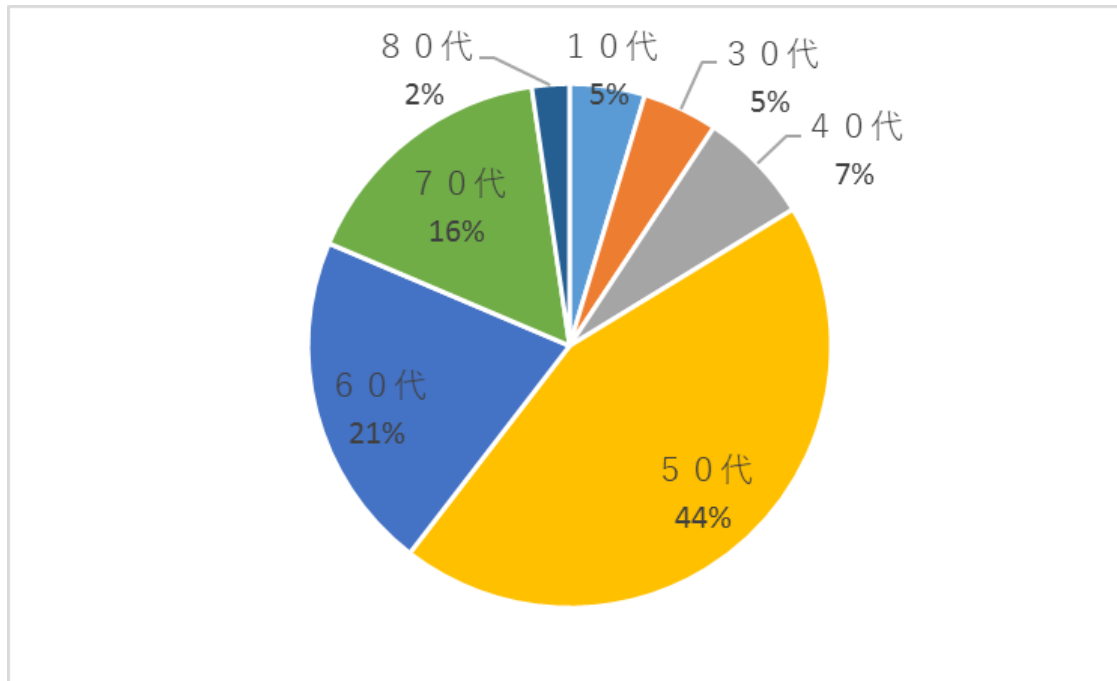


ひきこもり支援講演会（10月19日）

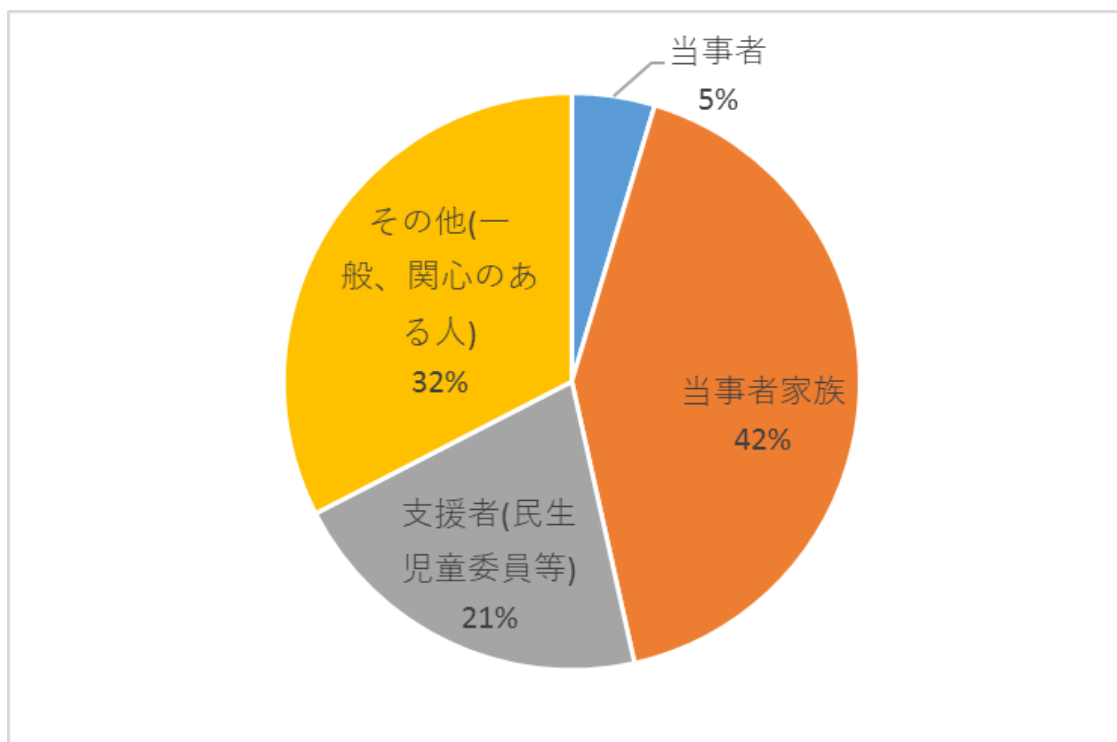
アンケート結果（会場参加者）

1 参加者内訳

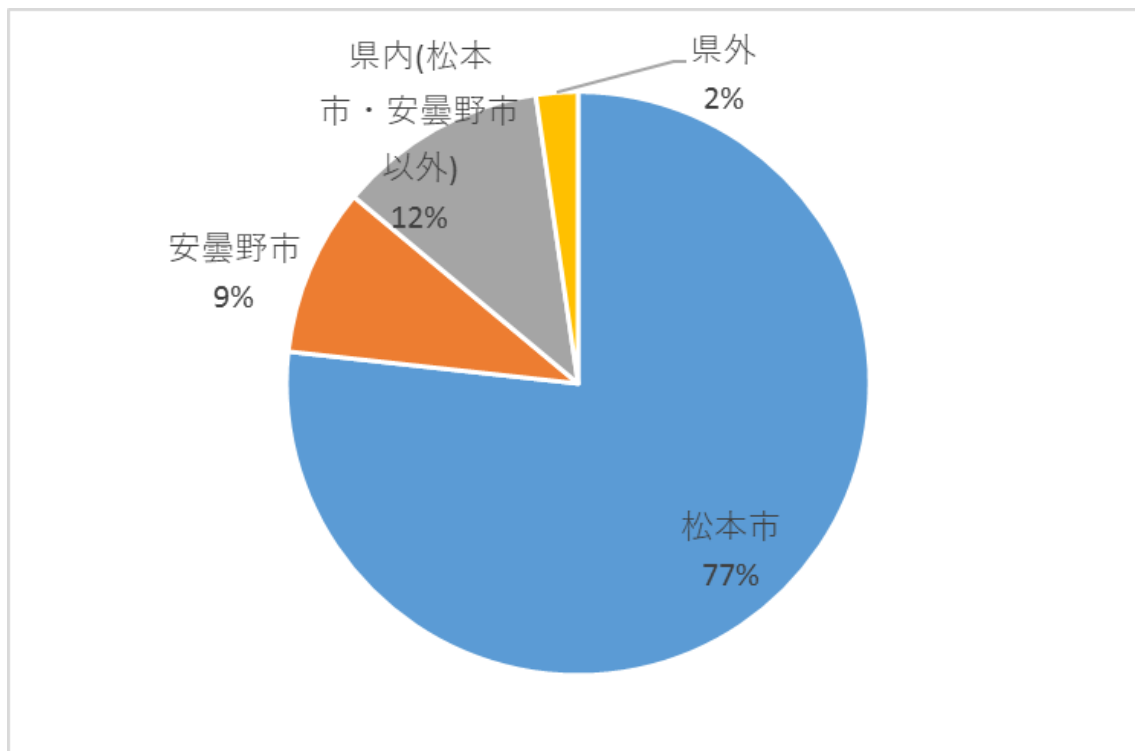
(1) 年代



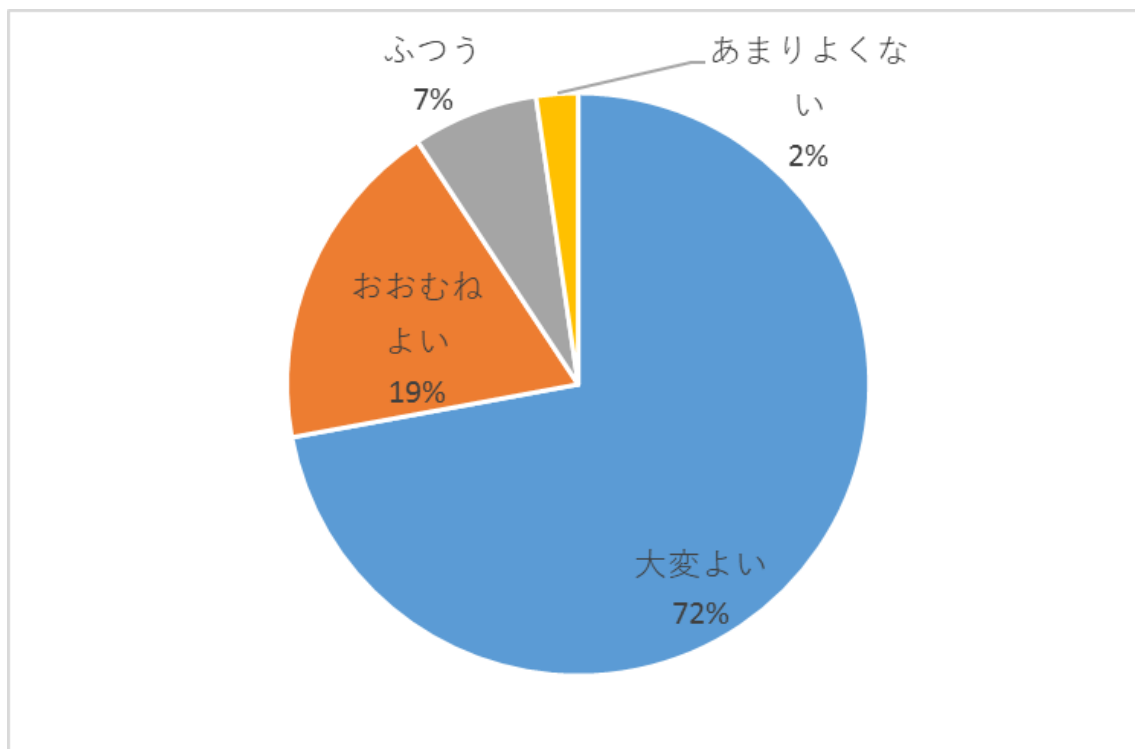
(2) 立場



(3) 居住地



2 研修会全体の感想



令和6年度 ひきこもり支援講演会 会場参加者アンケート結果
(6.10.19開催 回答者 43人)

1 年代に○のご記入をお願いします。

10代→2人 30代→2人 40代→3人 50代→19人 60代→9人
70代→7人 80代→1人

2 (1) 参加者のお立場

当事者→2人 当事者家族→18人 支援者(民生児童委員等)→9人
その他(一般、関心のある人)→14人

(2) 現住所

・松本市 33人 ・安曇野市 4人 ・塩尻市 3人 ・山形村 1人
・諏訪市 1人 ・山梨県中央市 1人

3 研修会の全体の感想につきまして、(1)～(5)に該当する項目に○のご記入をお願いします。

(1) 大変よかった→31人

【理由】

- ・ ありがとうございます。(6人)
- ・ 支援者としての心構え、姿勢、まなざしを明確に教えていただき、参考になったと共に、自分のやっていること、自分の考えと同じで、とても自信になりました。
- ・ 当事者の気持ちが聞けて良かった。
- ・ 林先生のお話に、大変勇気づけられました。今日という日に感謝です。
- ・ 孫に対し、登校拒否している孫と、その見方が全面的に出てしまう自分がいた。それは、孫の一部の姿。OKワードを心に入れて、安全地帯を作るつもりで、雑談のできる環境を作りたい。
- ・ 当事者ならではのお話が聞けて、良かったです。子どもが抱えている思いが、私が思っているよりも、もっともっと深いものだと感じました。
- ・ 支援者が求めるハードル(階段)が、当事者にとっては1000段にも感じる程という視点は、忘れないようにしたいと思います。

- ・ 不登校5年目、日々の雑談を繰り返して、本人のエネルギーが貯まるのを待ちたいと思います。
- ・ 「10年ひと昔」と「1年ひと昔」時代の流れが速すぎて、大変だと思いました。
- ・ 当事者として、支援者としての立場を両方経験している林先生のお話は、とても内容が濃く、グサグサと心に刺さってくるお話でした。
- ・ 体験者の心理状態とかをよく話をしていただき、理解が深まりました。
- ・ NGワードは、貴重な内容と思いました。言葉の使い方は、本当に恐ろしい結果を生みますね。「～してあげる」の意識は、よく見聞きします。戒めですね。アウトリーチは、一番怖いという話も。
- ・ 20年もの長い時を経て、今こうして堂々とお話される姿に、感動と共に驚きをおぼえました。そしてこの体験が、今こうして、支援者の一人として伝えられるのだ！！とても参考になりました。
- ・ 当事者よりも、家族の大切さが、よく分かりました。大切にしていきます。
- ・ スキルや知識ではなく、大切なのは「まなざし」と「姿勢」であること、横に並んで伴走することが大切と理解できました。
- ・ 不登校、ひきこもりの情報は、アップデートされていること、広報はキャッチーであること、大切なことが学べました。
- ・ 講師の方の体験に基づいた話は、心に響きました。
- ・ とても分かりやすかったです。そういう段階に慣れているのかも知れませんが、今の自分にストンと落ちました。(変化が早いこと、安全でないこと、闇が深いこと等)これからも長い道のりですが、ゆっくり探っていきたいです。
- ・ 今年度夏から、広報を見て、家族会にいくつか参加しています。本当に良くして頂き、有難く思っております。
- ・ 講演内容は同意できることばかりで、自分の考えを代弁してくれているようであった。
- ・ ひきこもりは、制度の狭間にいる存在であると思う。ひきこもりを対象とした制度、居場所が拡充されることを望む。
- ・ 当事者目線でのお話がとても分かり易く、当事者がして欲しい事、嫌な事のお話も、まるで自分の子供から言われている様で、本当に心に刺さりました。成人した子供との距離感も勉強になりました。
- ・ 質問のよく答えていただき、具体的で分かり易かった。
- ・ 私も何か支援できないか、過去の経験等を活かせることができないかを考えるきっかけになりました。

- ・ とてもよく頭の中に入ってきました。
- ・ 「ひきこもりは、地中に生き埋めにされている状態」という言葉が、衝撃的でした。「外に出ることは、気分転換になるのでは。」なんて、甘い考えだったのですね。
- ・ 当事者でも経験者でもない自分にも、何か支援できることはないのか、考えさせられました。
- ・ 当事者の言語化できなかった想いを聞かせていただき、とても当事者の状況が分かりました。
- ・ 何より、当事者の方で、今支援している場で、どれも重く深かった。参加して良かった。役に立つ。
- ・ 本当の当事者の気持ちを聞くことができた。(普通ではない世界がある事を知った。)
- ・ 私は、塩尻市で不登校とひきこもりのお子さんを持つ親御さんの相談対応等をしています。ひきこもり当事者だけでなく、同様に親御さんも苦悩しています。ましてや経済的負担、家事負担、心の負担と、当事者の3倍の負担をしている事例もあります。親御さんの視点からは、従来の就労への支援も誤っていないと、私は考えます。
- ・ 「ひきこもり」という言葉に「社会不適合者」というイメージが湧いてしまいがちで、社会に適應できるように支援するような気がしていましたが、それは間違いと分かりました。共感できる内容が沢山ありました。
- ・ 話を聴いて、悩んでいる事が少し解決できた。参考になった。
- ・ 仕事でひきこもりの方と接する機会があり、参考にしたいと参加しました。
- ・ 「当事者の方が、常に自分を責め続けている。」という言葉が、胸に刺さりました。
- ・ 子供が中学・高校と不登校でした。今は大学で、好きな事に打ち込んでいます。当時、どれほど辛かったか、と思いながら聞きました。
- ・ 先生の言葉一つ一つが、本当に当事者の気持ちをよく言葉にして下さっていると感じました。「支援」という言葉にイメージの「何となく・・・」の部分も言葉にして下さり、共感しました。
- ・ 8050問題のご回答も、有難かったです。

(2) おおむねよかった→8人

- ・ 当事者会のヒントをもらえました。有難うございました。
- ・ 不登校の人を見えています。その人たちの支援の一助になると思う。
- ・ 質疑の時間を、もう少し長くしてほしい。

(3) ふつう→3人

- ・ 不登校、ひきこもりと合わせて言うことが多く、そこに違和感あり。
- ・ ライフスタイルから外れてもいいのかの説明がなかった。(勉強→就職→結婚→出産→育児は、どうなるか。)

(4) あまりよくなかった→1人

- ・ 経済的な切り口で、全く語られていなかった。
- ・ 言葉の使い方を、不登校も学業放棄型不登校、人間関係苦労型不登校、ひきこもりも就労拒否型ひきこもり等に、原因別に分類すべきと、私は考えています。

(5) よくなかった・無回答→0人

4 ひきこもり研修会の内容に関する要望等(自由記載)

- ・ ありがとうございます(2人)。
- ・ また、このような研修会の企画をお願いします(2人)。
- ・ 当事者や経験者のみを集めたイベントがあれば良いと思う。
- ・ 当事者の活動を知りたい。
- ・ ひきこもり当事者の会があったら、知りたい。行きたい人がいる。
- ・ 支援者(親)のエネルギーが、どんどん無くなっていく感覚があります。色々と勉強しているのですが…。元気になる内容のものが度々あると、嬉しいです。
- ・ 「ひきこもり支援」も大事なことです。「学習支援」についてあれば、ありがたいです。
- ・ 具体的な声掛けをいろいろ知りたい(ポジティブワード等)。
- ・ 当事者と関わる際のNGワードやOKワードのレクチャーや練習
- ・ 支援団体の紹介